

はこだて高等教育機関 合同研究発表会

今、函館で
学べることが
見えてくる

先輩たちと
ふれあう
チャンス

スタンプラリーも
お楽しみください！
(記念品進呈)



友人や家族と一緒に、
進路を考えるきっかけに
していませんか？

2013
11|9
sat
11:00~16:00

街が僕らのアカデミア

函館市内にある8つの大学・短大・高専では、学生・教員らが持つ「体験」「発想」「探求心」から生まれる様々な研究がそれぞれのキャンパスで進行中です。これらの一端を市民の皆様方・地元企業の皆様方にわかりやすくご披露し、また各研究テーマの協力・連携の可能性を探るべく一同に集結します。当日はブースやステージでの発表などを通して、ここ函館を舞台に日々繰り広げられている研究活動に触れていただければと存じます。また中高生の皆さんにも今後の進路決定の参考に、先輩たちとのコミュニケーションの機会にさせていただきたいと思っております。スタンプラリーなど楽しい企画も満載。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

主催： キャンパス・コンソーシアム函館
 公立はこだて未来大学／函館大谷短期大学／函館工業高等専門学校／函館大学／函館短期大学
 北海道教育大学函館校／北海道大学大学院水産科学研究院・水産学部／ロシア極東連邦総合大学函館校／函館市

36 函高専 チーム
水中システム

水中における自己位置推定システムの開発

超音波とモーションセンサを用いた、水中における自己位置推定システムの開発を行っています。今回は、このシステムについてシステム概要や測定方法及び様々な実験を行った結果についてまとめたものをポスターにまとめて、発表させていただきます。

○チーム代表：吉崎敏也

37 函高専 チーム
オーシャンズ5

海産物色素を利用した太陽電池の開発

私たちの研究グループでは、太陽電池の低コスト化、高効率化を目指して研究をすすめています。北海道地区には豊富な海洋生物資源が存在している事に注目し、海産物を利用した太陽電池について、これまでの研究と今後の展開を紹介させていただきます。

○チーム代表：熊谷享平
○チーム員：川村亮太・高橋賢二郎・橋本敦弘・福原寛基

38 函高専 チーム
モンサウン

作問学習支援システム

「問題を作ろう」と言われたらどうやって問題を作りますか。そして、作った問題が正しいかどうか、どうやって判断していますか？そんな問題作り、コンピュータを使って体験してみませんか。操作は簡単ですが、頭は結構使います。さて、いくつ問題が作れるか挑戦してみよう。

○チーム代表：倉山めぐみ
○チーム員：佐々木祐樹・竹山和希・久保大貴

39 函高専 チーム
2Cは海の男の強い味方

**これなら持りたい！
と思うリップクリームをつくる**

凍てつく津軽海峡のマグロ漁師のロッキー浜谷のような唇を暖かく包み込むリップクリーム。成分へのこだわりはもちろん、海の男のゲン担ぎにも一役。また函館という地域性を生かして「女子も持たたい」と思えるリップケースもつくりました。

○チーム代表：鎌田ひかる
○チーム員：佐々木汐音・久原亜弓

40 極東大 チーム
函館とロシア

函館とロシアの交流史

本校の周辺には、ハリストス正教会、旧ロシア領事館、ロシア人墓地といったロシアゆかりの場所があります。今回はビデオでこれらの場所をロシア語と日本語で紹介し、ブースでは「函館とロシア」クイズも行います。函館とロシアの交流史やロシア語に興味をもつきっかけになれば幸いです。

○チーム代表：安川脩平
○チーム員：日野祐作・平岡美里・岡安優弥・酒井星弥
上木大樹・矢野智裕・吉田翔太・三好拓・永松菜実
工藤美咲

41 特別参加 チーム
いしてまい

『いしてまい』な学生生活を送ろう

私たちは青森県弘前市で学生があずましく(心地よく)過ごせるように街づくりをしている団体です。学生目線でオススメの店をまとめたつながるマップを作成したり弘前の文化を再確認するためにねぶたに参加しました！「いしてまい」ってなに？って思ったあなた！わんどのブースに来ればわかるはんで～！

○チーム代表：丹藤公貴
○チーム員：工藤遥平・田中萌・二橋弥生・御船大雅
寺嶋和也・菅野沙羅・佐藤諒・吉田佳穂

42 特別参加 チーム
函館西高等学校理科部

函館山におけるトビムシ相の調査

函館西高等学校理科部は、函館山の土壌調査により、環境と生物の関係をしらべている。特に土壌動物の「トビムシ」の個体数変動と季節との関連性について5年に及び調査を行い、降水量との一定の関連性を見つげるに至った。今回は、採取深度の違いや、樹皮上のトビムシについても調査を行った。

○チーム代表：栃木一晃
○チーム員：菅原悠真・小杉剛一・佐藤陸王・川嶋健人
岩田聖・小川一馬・北代祐基・戸涼史・佐藤昌輝

43 特別参加 チーム
函館大学付属柏校高等学校 理科研究部

**Hakuryo method における
ビタミン B2 定量装置の開発**

本研究部は、2011 年より様々な食品に含まれているビタミン B2 の測定法を検討しています。その中で薄層クロマトグラフィとオープンソースを用いるオリジナル定量法「Hakuryo method」を確立させることに成功しました。本研究では、さらに発展させるため、装置の開発に挑みました。

○チーム代表：木戸博哉
○チーム員：齋藤稔之・大江拓人・星澤翼・磯谷詩音

**スタンプラリー
実施中**

ブースを訪ねて、
スタンプを集めよう！

5つ以上のスタンプで記念品進呈

多彩な研究テーマが揃った43の展示ブース。興味のあることや、わからないことがあったら、どんどん質問をぶつけてみましょう。展示をみて、興味深かった、面白かったと思うブースがあったら、このパンフレットの所定場所にスタンプを押してもらってください。5つ以上のブースを回りスタンプを集めたら、受付で記念品を差し上げます。

**ステージセッション
参加チーム**

ステージでの発表
15分間の持ち時間で繰り広げられる
ステージ上でのプレゼンテーションです。

1 未来大 チーム
高度 ICT 演習観光系プロジェクト

北海道の地域情報を活用した iPhone アプリの開発

私たちは LOD という仕組みを利用して地域情報の公開と活用を促進し、地域活性化に貢献することを目的として活動しています。ステージ発表では観光客の「まちあるき」を支援するアプリについて発表します。ブース発表では北海道お魚図鑑というサイトの情報を使ったアプリについて発表します。

○チーム代表：長田昌浩
○チーム員：山田亜美・佐藤正徳・工藤卓也・兵藤允彦
河辺雅史・長内一真・雲井尚人・長谷川麻美

2 函館大 チーム
函館大学×函館観光コンシェルジュセンター共同プロジェクト

ココカフェ周辺でくたくマッ

本学のサテライトの周知と既存の地域資源を活かした観光ルートの作成を目的に調査を行いました。ルート作成ではあえて有名ではない銀座周辺に焦点を当て、地域資源の発掘と活用を心がけ、商業の活性化にも寄与するよう配慮しました。本ルートにて奥深い函館の観光資源を満喫してもらえれば光栄です。

○チーム代表：佐々木孝太
○チーム員：志村幸穂・佐々木翔洋・杉本諒・金澤裕美

3 北教大 チーム
木村ゼミ

**学校教育における
セクシャルマイノリティ**

同性愛や性同一性障害など、性の在り方が多数者とは異なる人のことをセクシャルマイノリティといいます。しかしメディアでは偏った情報がかりが発信されていることから、私たちは学校教育を通して正しい理解を必要があると考えています。一緒に多様な性の在り方について考えてみませんか？

○チーム代表：亀井将伍
○チーム員：稲垣悠子・滝代麗奈・谷口寛子・海沼由香
安田桃佳・熊谷亜果・本間いずみ

4 北大水 チーム
食 I

**海洋生物由来の脂質でつくった
ナノカプセルの腸管透過メカニズム**

“リポソーム”を知っていますか？これは脂質で構成されるナノカプセルで、化粧品や薬剤に応用されています。しかし、ナノカプセルの腸管透過のメカニズムは解明されていません。私は、ナノカプセルの脂質の違いが及ぼす影響から、このメカニズムの解明を図っています。

○チーム代表：小西 慶典

5 大谷短 チーム
谷短 radio

人はどうして他者と関わるのか

プレゼンテーションの授業の一環として行っている、Radio 番組作りをステージ上で再現します。(後日、録音した内容を On - Air する予定)

○チーム代表：金濱はづき
○チーム員：川口憂真・北村理咲子・山本麻以・吉田七海

6 函短大 チーム
もぐもぐ料理研究会

旬のおいしいとうもろこしを学校給食に！

学校給食に地場産食材を活用しようと農林水産省が PR していますが、まだ十分活用されていないためです。函館市でも同じです。今回は朝どりとうもろこしを凍結して、おいしいスープとして学校給食に活用することを提案します。

○チーム代表：西岡舞子
○チーム員：播磨佳予子・渡邊博人・脇谷まなみ・依田和磨

7 函高専 チーム
発情牛見つけちゃってゴメンネゴメンネ～

酪農の IT 化

皆さんにとって身近な牛乳がどう生産されているかご存知ですか？乳は牛が妊娠して初めて出ます。そこで私達は牛に安定した交配をさせるべく、牛のある発情兆候に着目した発情検出システムを開発しています。特許出願中の新しい技術に大注目！！

○チーム代表：加藤証紀
○チーム員：中林暢・古川椋・瀧瀬愛梨

8 極東大 チーム
コール八幡坂

ロシア語で函館を唱おう

函館市民に長く親しまれているはこだて賛歌！これをロシア語に翻訳し、本邦初演いたします。ロシア語で歌われる函館の心をお聞きください。もう一つ、翻訳不可能と思われた「函館いか踊り」もロシア語に完訳！おどりと共にロシア語のリズムで歌われる「いか踊り」をお楽しみに！

○チーム代表：三好拓
○チーム員：酒井星弥・安川脩平・矢野智裕・吉田翔太・浅川真人
永松菜実・水野夢嵐・加藤奈美・工藤彰信・鍋谷真依

アカデミックリンクの開催にあたり各企業の皆様のご協賛を賜りました。ありがとうございました。
 五稜郭タワー (株)・(株) 東和電機製作所・(株) コジマ店装・函館山ロープウェイ (株) FM いるか
 (株) VERSION 2・ホテル法華クラブ函館 (敬称略・順不同)



ブースセッション
参加チーム

パネル展示や実演・解説
パネル展示を前に各種のデモンストレーションや解説を行います。

1 未来大 チーム
高度 ICT 演習観光系プロジェクト

北海道の地域情報を活用した iPhone アプリの開発

私たちは LOD という仕組みを利用して地域情報の公開と活用を促進し、地域活性化に貢献することを目的として活動しています。ステージ発表では観光客の「まちあるき」を支援するアプリについて発表します。ブース発表では北海道お魚図鑑というサイトの情報を使ったアプリについて発表します。

- チーム代表：長田昌浩
- チーム員：山田亜美・佐藤正徳・工藤卓也・兵藤允彦 河辺雅史・長内一真・豊井尚人・長谷川麻美

2 未来大 チーム
レシビプロジェクト

食の新世界へ～未体験レシビの探求～

私たちは情報技術を使って料理を作っています。その中で、みなさんの健康状態に適した料理を提案できるよう日々活動をしています。また、からだのなさや肌荒れのような健康状態に応じた料理、栄養バランスが整った料理、色彩を考慮した料理を開発しています。

- チーム代表：駒形憲彦
- チーム員：池藤大記・西俊俊祐・高橋僚

18 北教大 チーム
日本語教育 C

リズム指導が日本語学習者の
促音の発音に与える効果

私たちチーム日本語教育は外国語としての日本語を 4 技能それぞれの観点から見つめ、日々研究をしています。この研究では、日本語学習者の話す日本語に注目しました。いわゆる外国語訛りの日本語には、言葉のリズムが関わっているとされています。指導によってこのリズムがどう改善されるかを探ります。

- チーム代表：小堀真由美

19 北教大 チーム
Acrylic Resin

樹脂標本の魅力

私たちは函館山で昆虫を含む無脊椎動物相を調査している生命系 3 年生チームです。函館山の貴重な自然環境を解説するとともに、アクリル樹脂を使った美しい標本も展示します！魅力的なアクリル標本の世界と函館山の自然を楽しんでください。

- チーム代表：渡辺誠舟
- チーム員：大塚麻里子・菅原顕徳・白田愛実・粟井麻里那

20 北教大 チーム
キノコアリ

アリの声を聴け

アリがしゃべる声を聴いたことがありますか？実はアリの中には、多種多様な音を使ってコミュニケーションを取っているものがあることを私たちは明らかにしつつあります。アリたちはどんなときに、どんな声で、何を伝えているのか？まだ誰も知らない「アリの声」を聴いてみてください！

- チーム代表：中田千尋
- チーム員：阿部ひかる

3 未来大 チーム
ソフライン開発プロジェクト

未来(大)を救え！ソフトウェア管理システム

未来大学をお客様として、ソフトウェアライセンスを安全、簡単に管理するシステムを開発しています。このシステムを使うと、ソフトウェアライセンスの使用状況が可視化され、不正利用を未然に防げます。デモンストレーションも用意していますのでぜひ触ってみてください！

- チーム代表：松田隼士
- チーム員：加藤武文・中島滉介・新山優佳・前田実優・安藤大岳 岡村萌生・小野美都・齋藤創・高橋永紀・花田洋貴 吉田修平・吉田匡孝・小島和司・田中桂介

4 未来大 チーム
野外劇

函館野外劇におけるチケット予約システム

私たちは市民創作「函館野外劇」からの要望を受け、既存のチケット予約システムを再構築している。その中で、既存のシステムを踏襲してながらも、利用者が使いやすいシステム開発することに力を入れている。また、若者に野外劇を知ってもらえるような仕組みも検討中である。

- チーム代表：花田洋貴
- チーム員：安藤大岳・齋藤尊・吉田匡孝・KIM SUN WOO

5 未来大 チーム
高度 ICT 演習海洋系プロジェクト

ヒトと海の幸のタッチポイントデザインと
大坂湾における運航サポートシステム

高度 ICT 演習海洋系プロジェクトでは 2 つの活動をしています。1 つ目は消費者が漁業者や海産物を身近に感じられるような新たな結びつきをデザインする活動をしています。2 つ目は大坂湾での船舶の安全な航行を支援することで海難事故の減少を目指した活動を行っています。

- チーム代表：伊藤大輔
- チーム員：副島康太郎・水野陽介・坪原琢人・中司智希 中進吾

21 北教大 チーム
バイオリギング

バイオリギングでアリの行動を追う

近年の技術革新によりアリの背中に取り付けられるほどの極小のマイクロチップが開発されています。この技術を使って様々な進化段階のアリの行動を自動で長時間記録・解析しています。「働かないアリ」はどのように進化したのか？説明はブースにて！

- チーム代表：萬徳勇志

22 北教大 チーム
エコフィード

循環型農業を目指して

私たちは道南で大量に廃棄される農業残さを利用して、飼料に転換する研究をしています。コンブ、もやしに続いて今年度は、しいたけ、豆、米の残さを利用して新たなエコフィードの開発にチャレンジしています。循環型農業を定着させる取り組みを是非開いてください。

- チーム代表：本多優
- チーム員：相原みわ・加藤ひろの・高橋沙耶

23 北大水 チーム
北大プラントク

大沼のアオコを水草で防ぐ

大沼国定公園の湖沼群は昨年ラムサール条約に登録され、環境保全の点で注目されている。一方、夏から秋にアオコが大量発生し、景観の悪化等の問題を引き起こしている。今回、水草「ヒシ」からアオコの原因生物を殺滅する細菌の発見に成功し、今後ヒシを活用したアオコの発生防除の可能性が見いだされた。

- チーム代表：宮下洋平

6 未来大 チーム
ミライケータイプロジェクト

人と人をつなげるミライアプリ

ミライケータイプロジェクトでは、人と人とのつながりをコンセプトとした 2 つのスマホアプリを開発しています。ゆるキャラと一緒に理想のスタイルを目指すアプリ「ヘルリン」と素直な気持ちを相手に伝えるアプリ「Graffiti Message」です。2 つのアプリのデモに触れることができます。

- チーム代表：植松隼平
- チーム員：猪平萌映・岩崎剛・木村和弘・花田智・小泉真祈 杉村拓哉・寺内茜・垣野優・中村一輝・大井将徳 佐藤拓磨・小野美都

7 未来大 チーム
イベント

函館市近郊における
イベント発信サイトの構築と提案

本プロジェクトでは、ICT(Information and Communication Technology)を用いて、システム開発の工程を体験し、実践的なスキルを学びながら、地域をデザインしていく、その題材として、函館市近郊におけるイベント発信システムの構築と提案を行う。

- チーム代表：兵藤允彦
- チーム員：工藤卓也・齋藤創・坂部翔一・小田大介 菅野久樹・斉藤篤史

8 未来大 チーム
未来大鈴木研究室

観光用 AR コンテンツの開発

拡張現実 (AR) の技術を利用し、観光客に対する直感的な情報提供を可能にするサービスの実現を目指す。今回の発表では、その第一歩として利用目的に応じた提示情報を切替可能な AR コンテンツを制作し展示する。

- チーム代表：富本朗文

24 北大水 チーム
アメフラシ

海の不思議な世界～アメフラシの紫色の煙幕～

貝殻を持たず、動きも遅い軟体動物である「アメフラシ」は、敵に襲われると紫色の煙幕を放出して身を守ることを知っていますか？そして以外にも、この紫色の煙幕は赤い色の海藻と密接な関係があるので、海のごみを減らすことにもつながります。是非ブースにお立ち寄りください。

- チーム代表：武田朋之
- チーム員：宮部好克

25 北大水 チーム
Kelp

なぜ??? ヨウ素低減コンプをつくる意味とは!!

皆さんご存知でしょうか。コンプにはヨウ素がたくさん含まれており、そのためにコンプを食べることができない人が大勢います。そこで私たちの研究はおいしさを維持しつつヨウ素を取り除くことで、誰でも食べることができコンプをつくることを目標としています。興味のある方はぜひお越しください。

- チーム代表：木下洋輔
- チーム員：小林秀輔

26 北大水 チーム
脱 Cd 研究班

水産廃棄物で養殖魚のエサをつくろう

イカ肝臓(イカゴロ)は栄養豊富で養殖飼料として期待されていますが、多くのカドミウムを含むために廃棄物として処理されています。そこで我々が開発した競争吸着法(特許取得済)を用いたところカドミウムを除去しイカゴロの飼料化に成功し、そして実用化に向けた装置も完成させることができました。

- チーム代表：西平武史
- チーム員：越湖晶晶・江口順也

9 函館大 チーム
私を野外劇に連れてって-2

野外劇字幕表示システム

本システムは、市民創作函館野外劇を、セリフなどの字幕表示によって聴覚障がい者や日本語が苦手な方などに幅広く楽しんでいただける様、開発したシステムです。今回は前年度、今年度の意見を踏まえ、改良し、更に便利になりました。今後の目標は外国語訳、完全自動化等です。

- チーム代表：村上健太
- チーム員：小沢彩花・東香帆・阿保孝彦・岡部志織 田中美由紀・疋田健太

10 函館大 チーム
H・I・Fプロジェクト

函館・食の国際化 ～お・も・て・な・し～

留学生の日本滞在中の満足度向上を目指すプロジェクト。各国の味覚や文化を調査し、発信することで、ホームステイ受け入れへの不安の軽減や、留学生への「おもてなし」ができると思った。留学しやすい、受け入れやすい環境づくりをしていき、今後の国際交流にも繋げていきたい。

- チーム代表：佐々木孝太
- チーム員：瀧澤恵美・本村麻由香 ヨハンソンヨハンナリニア・オウギョウ・エイビ

11 函館大 チーム
HBR (はこだてビジネスレビュー)

函館の評価と課題
— GLAY コンサート時のアンケート調査結果 —

GLAY のコンサートはどのような人々を函館に呼び込んだのか？彼らはどのように函館をまわり、函館をどう評価し、何を課題と感じたのか？この発表では、7 月 27 日のコンサート当日に会場周辺で実施したアンケート調査結果に基づいて報告する。

- チーム代表：酒井光
- チーム員：東麗奈・坂本郁香・佐々木龍也・菅又めぐみ 佐々木優・高谷直樹・今孝朗・鈴木恵理・澤田遼太 昆優悟・齊藤翔平

27 北大水 チーム
凝集

環境にやさしい濁水の浄化技術

私たちは大豆から作った凝集剤を用いて、大沼のアオコの除去を目的とした研究を行っています。今回は粒子径がほぼ同じである青汁粉末を溶かした模擬アオコ懸濁液を用いて凝集実験を行います。また、鉄粉を加えることで凝集体が磁石で動く様子を見ることが出来ます。ぜひ見に来てください。

- チーム代表：田村俊介
- チーム員：佐々木良輔・徐婷

28 北大水 チーム
インディケータ

温度管理インディケータによる食中毒の防止
～目で見て分かる温度変化～

食品の温度管理は食中毒防止のためにとても大切です。もしかしたら要冷蔵の食品があたいたいところに放置されていたかも…。目で見ただけでは温度はわかりませんよね。そんなとき温度変化が「色」でわかったら？目で見て分かる食中毒対策、はじめませんか。

- チーム代表：内沼美結
- チーム員：須藤あゆみ

29 北大水 チーム
北海道大学鯨類研究会

ポスターで目視!!
津軽海峡の鯨類を学ぼう!!

こんにちは！北海道大学鯨類研究会です！皆さんは津軽海峡で様々な種類の鯨類が見られるということをご存知でしょうか？今回は我々鯨類研究会が 10 年間にわたって集めたデータをもとに津軽海峡で見られる鯨類をわかりやすく紹介したいと思います！鯨の缶詰の試食も行いますので是非いらしてください！

- チーム代表：田代郷史
- チーム員：本間総悟・神林潤・前澤知輝・三浦裕人・辻井浩希 大門純平・石井緑・柳澤さなえ・田中智子・横しずく・北川真衣 楠田悠貴・杉田大地・田川怜・馬場祐輔・齊藤未祐

12 函館大 チーム
函館大学×函館観光コンシェルジュセンター共同プロジェクト

ココカフェ周辺でくたくマッ

本学のサテライトの周知と既存の地域資源を活かした観光ルートの作成を目的に調査を行いました。ルート作成ではあえて有名ではない銀座周辺に焦点を当て、地域資源の発掘と活用を心がけ、商業の活性化にも寄与するよう配慮しました。本ルートにて奥深い函館の観光資源を満喫してもらえれば光栄です。

- チーム代表：佐々木孝太
- チーム員：志村幸穂・佐々木翔洋・杉本諒・金澤裕美

13 函館大 チーム
朝市調査隊

外国人観光客の朝市に対する
意識調査アンケート

函館朝市を利用された方へアンケート調査を行い、回収数は外国人観光客 52 枚、日本人観光客 111 枚。外国人は台湾から 37 人、台湾以外の国から 14 人。約 7 割が台湾から来ていた。約 7 割が朝市の魅力として鮮度の良さをあげていた。接客態度としては、約 9 割は少し良い・良いと回答していた。

- チーム代表：松谷友梨亜
- チーム員：濱田拓実・千山貴大・細坪信人・三浦浩平

14 函館大 チーム
モバラボ

GLAY ライブの経済効果
— ホテル・旅館のアンケート調査を通じて —

7 月 27 日・28 日に行われた GLAY のライブの際に、函館市内近郊のホテル・旅館にはどのような経済効果があったのか。郵送アンケートを実施して、調査した。このライブは、函館に何をたらしたのか、今後より大きな成果をあげるためには何が必要なのかを探っていくこととしました。

- チーム代表：吉田和生
- チーム員：吉田和央・進藤詠亮

30 北大水 チーム
ヒスタミン

ハードルテクノロジーを用いた
ヒスタミン食中毒の予防

お魚くわえたら猫を追っかけ季節になりましたが、お魚管理は順調でしょうか。どら猫かくわえた魚はおるか、冷蔵庫に入れておいた魚でさえ食中毒になる可能性があります。けれども、わたしたちが、防ぐ術を知っています。そんなわたしたちのお・も・て・な・しをどうぞ。

- チーム代表：網野元貴
- チーム員：山下晴也

31 大谷短 チーム
ひょうたんベイビー

音・絵・動きの表現

こどもの表現力は無限大です。その表現力をより豊かにし、いつも探求心にあふれる健やかなこどもの育ちを願い、私たちこども学科では、「表現」をテーマに手遊びやパネルシアター等を通して、音や絵、動きから伝わる楽しさ、そして伝える楽しさを発表します。かわいいこどもの世界へようこそ！！

- チーム代表：金澤愛
- チーム員：秋本美空・伊藤朱里・伊藤千尋・佐藤亜樹 遠見舞

32 函短大 チーム
もぐもぐ調査隊

味覚検査結果における生活習慣の影響について

味覚検査を行うとき、検査結果に生活習慣が影響するかどうかを調べた。その結果、日常生活で規則正しく食事を摂っていること、安定した味覚を維持できることが分かりました。その他に、間隔をおいて別な日に味覚検査を行うと、苦味の感度が変わることも分かりました。

- チーム代表：清水 陽子
- チーム員：坂手誠治

15 函館大 チーム
エソシカカレープロジェクト

エソシカ肉の知名度の変化と普及の可能性

道央、道東だけでなく道南函館エリアでもエソシカによる農業被害が年々増加傾向にあり、様々な面から注目されている。エソシカの有効利用と函館発信食材としてのエソシカカレーの普及を目指します。紹介しながら、試食会を通してエソシカカレーの魅力を広めていきます。

- チーム代表：吉田奈央
- チーム員：根本美久・塚原早紀・松村架那・中澤さおり 平野瞳

16 北教大 チーム
日本語教育 A

英語圏日本語学習者の談話における
「くり返し」に関する研究

談話の中にはいろいろな現象が現れます。この研究では「くり返し」に注目して、日本語学習者の談話における「くり返し」を分析しました。どんなことが見えてきたのでしょうか。統計手法を用いて「くり返し」使用と能力の関連、初中級の表現の違いなど、「くり返し」という現象の様々な側面に迫ります。

- チーム代表：難波えみ

17 北教大 チーム
日本語教育 B

無助詞文の授業導入に向けて

「その服、かわいいね」「その服はかわいいね」この 2 つの文の違いは何でしょうか。皆さんはどちらを使いますか。この研究では、助詞を使わない方が自然であるという「無助詞」について研究しています。皆さんも「助詞」について考えてみませんか。

- チーム代表：溝口美帆

33 函短大 チーム
もぐもぐ料理研究会

旬のおいしいともろこしを学校給食に！

函館市の学校給食に地場産食材を活用しようという動きがあります。朝どりウオモロコシをおいしいスープとして学校給食に活用してほしいものです。実際に、この夏採れたすりおろしウオモロコシ(凍結貯蔵)で甘いスープを試してみましたので、生徒になった気分でご味わってください。

- チーム代表：西岡 舞子
- チーム員：播磨佳予子・渡邊博人・脇谷まなみ・依田和磨

34 函高専 チーム
函館高専 Physics

星空シミュレータの活用 (MITAKA の使い方)

毎晩ひっそりと輝く星たち。その魅力を学べる機会はいくらもありません。そこで、本ブースではシミュレータ「MITAKA」を使って星空の魅力をやさしく解説します。「あまちゃん」で、潮流発電が実現する事は非常に有益であるため、数値計算によって海峡内の潮流を再現し、その結果から検討を行います。

- チーム代表：横田龍太郎
- チーム員：土肥涼平・橋本優里

35 函高専 チーム
函館高専 水工研究室

潮流発電適地選定のための
津軽海峡における流況調査

潮流発電は、水面下で稼働するため景観への影響が無く、騒音の影響が少ないなど、発電量が比較的容易に予測できる事から安定的な電源として期待されています。津軽海峡において、潮流発電が実現する事は非常に有益であるため、数値計算によって海峡内の潮流を再現し、その結果から検討を行いました。

- チーム代表：本間 翔希